

「日本語教育の参照枠」の策定に向けたスケジュール（案）

令和元年度

- 日本語教育の標準に関するワーキンググループを設置，国民への意見募集を実施
⇒「日本語教育の参照枠」一次報告（令和2年11月20日 日本語教育小委員会）
内容：理念・方針、CEFRを参照した言語活動別の熟達度の尺度（6レベル×5言語活動），各尺度における言語能力記述文、Can-do作成・検証ガイドライン等を収録

令和2年度

- 日本語能力の判定基準に関するワーキンググループを設置
⇒「日本語教育の参照枠」二次報告（令和3年3月 日本語教育小委員会）予定
内容：日本語能力の評価の考え方，各種日本語能力の判定試験と「参照枠」を対応づけるための手法，社会で活用される試験に求められる要素について

※一次・二次報告はそれぞれ別の内容を取りまとめるため，各報告における内容は取りまとめ時点で確定とする。

令和3年度

- 「日本語教育の参照枠」の活用に関する検討を実施予定
内容：「日本語教育の参照枠」を基にした，教育現場で活用できる具体的な教師用手引きや，学習者の自律学習支援ツール等の作成に向けた検討

一次報告・二次報告・活用の手引き等を併せて
「日本語教育の参照枠」（令和3年度末 国語分科会取りまとめ予定）

※令和4年度以降にCEFR2020補遺版等の参照について検討を行う予定